

職域における 定期健康診断の有所見率

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会
 会長 柳澤 信夫
 (一財)全日本労働福祉協会 長 濱 さつ絵
 都産健協広報部会長 細井 義男

I はじめに

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会（都産健協）の事業部会では、事業場が推進する健康管理の参考データとして産業保健関係者に提供することを目的に、会員機関が実施した職域における健康診断のデータを収集し、性・年齢別、企業規模別及び業種別の有所見率を集計した。

II 方法

1. 解析対象とした健康診断の実施機関

平成29年7月、東京都産業保健健康診断機関連絡協議会（都産健協）に加入する42機関へ調査表を配布し、9月上旬をめどに調査票を回収。43機関のうち18機関から報告があった。

2. 有所見の判定

各検査項目の有所見の判定は、各健診機関の医師がそれぞれ策定した判定基準を使用した。

3. 定期健康診断の実施期間

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの1年間に実施された健康診断について集計した。

表-1 性年齢別有所見率調査対象者の年齢構成（2017年）

年齢	男性		女性	
	人数	%	人数	%
-19	37,572	2.3	38,701	3.9
20-24	106,716	6.6	87,999	8.9
25-29	165,598	10.2	108,945	11.0
30-34	189,039	11.7	106,044	10.7
35-39	196,718	12.1	105,377	10.6
40-44	222,678	13.7	126,085	12.7
45-49	212,291	13.1	125,507	12.6
50-54	168,230	10.4	103,227	10.4
55-59	133,624	8.2	81,942	8.3
60-64	102,450	6.3	58,767	5.9
65-	86,748	5.3	50,281	5.1

III 結果

1. 解析対象

男性 1,621,664人

女性 992,875人

合計 2,614,539人

男性は40-44歳が最も多く、次に45-49歳、そして35-39歳の順であった。女性は40-44歳が最も多く、次は45-49歳、25-29歳の順であった。

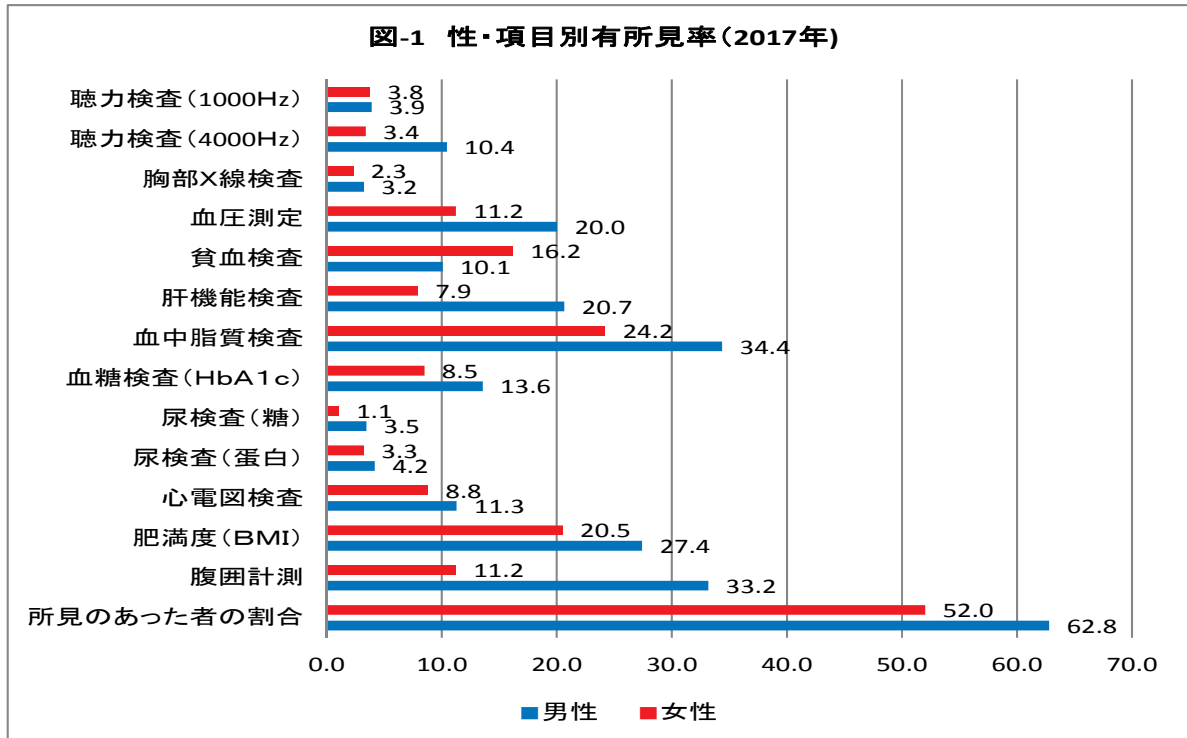
2. 性・項目別の有所見率

総有所見率は男性62.8%、女性52.0%と概ね半数以上に所見が認められる結果となった。男性で有所見率が高かったのは、

血中脂質検査34.4%、腹囲計測33.2%、肥満度（BMI）27.4%、肝機能検査20.7%、血圧測定20.0%、血糖検査13.6%、心電図11.3%、聴力検査（4000Hz）10.4%の順であった。

女性で有所見率が高かったのは、

血中脂質検査 24.2%、肥満度 (BMI) 20.5%、貧血検査 16.2%、血圧測定 11.2%、腹囲計測 11.2%、心電図検査 8.8%、血糖検査 8.5%、肝機能検査 7.9%の順であった。



性別で比較すると

男性が女性よりも高かったのは、聴力検査(1000Hz)、聴力検査(4000Hz)、胸部X線検査、血圧測定、肝機能、血中脂質、血糖、尿検査(糖)、尿検査(蛋白)、心電図、肥満度(BMI)、腹囲計測であった。一方、女性が高い項目は貧血検査のみであった。

表-2 性・年齢別有所見率(2017年)

(%)

項目	性別	-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-	合計
		M	1.2	1.5	1.5	1.6	1.7	2.0	2.4	3.4	5.6	9.7	19.0
F	1.3	1.9	1.9	1.8	1.9	2.1	2.5	3.5	5.3	9.1	17.5	3.8	
聴力検査(4000Hz)	M	0.9	1.4	1.7	2.1	3.2	4.9	7.3	11.1	18.2	30.6	48.4	10.4
F	0.8	1.6	1.7	1.6	1.6	1.7	2.1	2.9	4.6	8.5	18.3	3.4	
胸部X線検査	M	0.4	0.6	0.7	1.1	1.7	2.5	3.3	4.1	5.6	7.6	11.7	3.2
F	0.3	0.4	0.5	0.8	1.1	1.6	2.1	3.0	4.2	5.9	9.9	2.3	
血圧測定	M	7.2	6.5	6.0	8.3	11.7	17.4	23.9	30.4	35.6	39.2	40.4	20.0
F	1.4	1.9	2.2	3.5	5.2	8.4	12.8	18.0	21.8	26.4	35.2	11.2	
貧血検査	M	6.7	6.9	6.6	7.2	8.3	9.2	10.1	10.9	12.5	14.0	19.9	10.1
F	10.1	11.6	12.5	14.7	17.4	20.2	22.1	16.6	12.2	11.9	16.3	16.2	
肝機能検査	M	9.8	11.0	14.3	18.2	20.8	23.3	24.1	23.8	22.8	20.7	18.3	20.7
F	2.6	2.4	3.1	4.3	5.5	6.7	8.3	12.0	13.6	13.2	14.3	7.9	
血中脂質検査	M	15.2	16.8	20.8	26.8	32.6	38.4	41.1	41.1	39.6	37.5	35.4	34.4
F	12.2	11.4	11.3	13.4	15.7	18.7	24.4	35.2	41.7	43.2	41.6	24.2	
血糖検査(及び又はヘモグロビンA1c)	M	1.9	2.2	2.8	4.3	7.5	11.3	15.2	20.1	24.3	27.8	28.6	13.6
F	1.7	1.8	2.2	2.9	4.5	6.2	8.2	11.7	15.5	19.2	23.5	8.5	
尿検査(糖)	M	0.5	0.4	0.7	1.0	1.5	2.5	4.0	5.5	7.0	8.2	9.0	3.5
F	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.8	1.1	1.4	1.8	2.2	3.4	1.1	
尿検査(蛋白)	M	4.7	4.2	3.4	3.2	3.4	3.8	4.2	4.4	5.0	5.5	7.5	4.2
F	4.3	4.8	3.8	3.2	3.0	3.0	2.8	2.4	2.2	2.5	6.0	3.3	
心電図検査	M	8.0	6.6	6.3	6.5	7.1	8.3	10.1	12.3	15.6	19.1	26.0	11.3
F	4.6	4.5	4.5	5.2	5.6	6.6	7.6	9.8	11.6	14.2	24.0	8.8	
肥満度(BMI)	M	14.7	18.9	22.9	24.9	27.0	29.7	31.5	30.9	29.9	29.1	27.8	27.4
F	9.7	14.1	17.9	19.7	20.6	21.4	22.2	22.8	23.7	24.1	24.1	20.5	
腹囲計測	M	8.3	14.0	20.7	25.9	29.9	33.4	36.9	38.7	38.8	39.1	37.0	33.2
F	4.1	4.1	6.0	8.0	9.2	10.5	12.1	13.3	14.6	15.5	16.3	11.2	
所見のあった者の割合	M	17.0	32.9	43.4	51.0	61.5	68.6	73.2	75.7	77.4	78.9	78.3	62.8
F	10.6	27.4	38.5	43.7	50.2	54.9	59.9	64.9	69.2	71.7	73.4	52.0	

年齢別の有所見率を男女別に比較すると

多くの年齢層において男性の有所見率が女性より高い

各検査の有所見率は、55歳未満の貧血、聴力検査（1000Hz）と55歳以上の血中脂質、20～24歳の聴力検査（4000Hz）、20～29歳歳の尿蛋白以外はいずれの年代とも男性が女性を上回っている。

3. 性・年齢・項目別の有所見率

男性、女性とも年齢が高くなるほど有所見率が高くなっている項目は

聴力検査（1000Hz）、聴力検査（4000Hz）、胸部X線検査、血圧測定、血糖検査（及びまたはヘモグロビンA1c）、尿検査（糖）である。

血中脂質検査

男性……45-49歳までは増加傾向、
それ以後は減少傾向。

女性……年齢が高くなるほど有所見率が高く、50歳以上の有所見率は特に高い。

肝機能検査

男性……45-49歳までは増加傾向、
50～54歳以後は徐々に減少傾向。

女性……年齢が高くなるほど有所見率は高い。

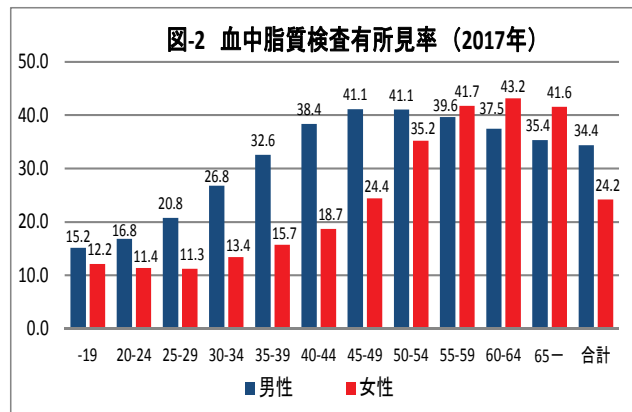
貧血検査

男性……年齢が高くなるほど有所見率は高い。

女性……45-49歳までは年齢が高くなるほど有所見率は高い。50歳以上は有所見率が低下。

所見のあったものの割合

男性、女性とも年齢が高くなるほど有所見率も高くなっている。



4. 企業規模別コメント

企業規模別の有所見率

企業規模は50人未満と50人以上に分け集計を行った。対象となった人数は50人未満の男性176,796人、女性113,750人に対し、50人以上の男性377,691人、女性215,655人で、各年代のn数は各年代とも1,000人を超える人数となった。

50人未満と50人以上の有所見率を比較すると、男性、女性とも50人未満の企業規模の有所見率が高くなっている。なお、男女とも概ね年齢が上がるとともに有所見率が増加する傾向が見られた。

表-3 企業規模別性年齢別有所見率（2017年）

(%)

性別	規模	-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65+	合計
男性	50<	56.2	56.4	62.5	67.6	75.6	79.7	80.1	77.9	75.1	70.2	63.2	72.5
	50≥	48.4	52.6	56.7	60.8	71.6	76.6	80.4	80.8	79.1	77.2	73.3	71.3
女性	50<	43.8	56.5	60.6	63.8	71.3	74.8	77.2	79.4	78.4	75.4	66.7	56.7
	50≥	40.8	48.9	57.1	61.1	68.0	72.5	75.8	78.1	78.2	75.7	73.2	68.9

5. 業種別コメント

業種別の有所見率

業種別は、製造業、建設業、運輸業、商業、その他の五つの区分に分け集計を行った。各業種の集計人数は、製造業男性184,044人、女性75,682人、建設業男性38,236人、女性9,221人、運輸業男性105,494人、女性26,306人、商業男性98,183人、女性117,012人、その他男性280,201人、女性226,221人となっていた。この内、19歳以下の年代は各業種の年代の構成比率として全般的に低い数値であった。

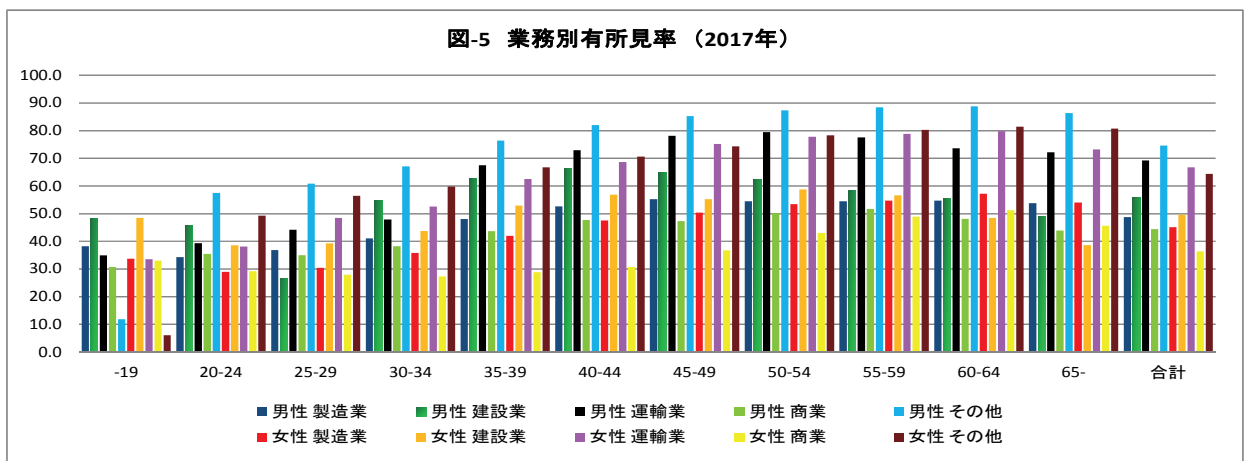
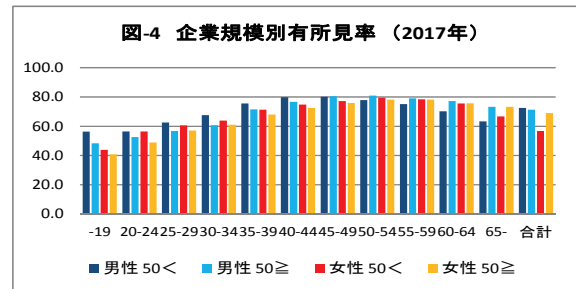
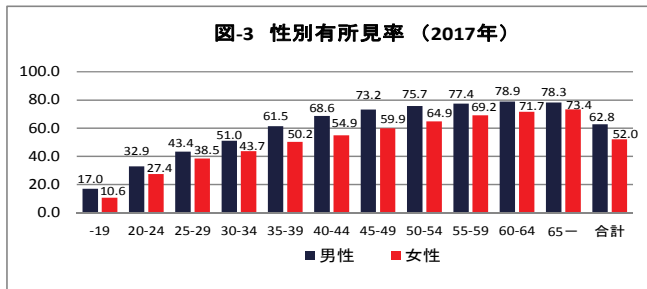
業種による有所見率は、今回は男性では運輸業、建設業、その他が高く、女性では運輸業、その他がやや高い結果となっていた。逆に低かったのは、女性の商業、製造業であった。なお、加齢による有所見率は、男女・各業種のいずれにおいても加齢とともに有所見率が増加する傾向にある。

表-4 業種別性年齢別有所見率（2017年）（%）

性別	業種	-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-	合計
男性	製造業	38.2	34.3	36.8	41.1	48.1	52.6	55.2	54.5	54.5	54.7	53.7	48.7
	建設業	48.2	45.7	26.5	54.6	62.8	66.5	65.0	62.2	58.4	55.3	48.9	55.9
	運輸業	34.9	39.3	44.2	47.9	67.5	73.0	78.2	79.4	77.5	73.7	72.2	69.3
	商業	30.7	35.4	35.0	38.2	43.7	47.7	47.3	50.3	51.7	48.2	43.9	44.4
	その他	11.8	57.5	60.8	67.1	76.4	82.0	85.3	87.4	88.4	88.8	86.4	74.6
女性	製造業	33.7	28.9	30.5	35.8	42.1	47.6	50.4	53.4	54.8	57.2	54.0	45.1
	建設業	48.5	38.6	39.2	43.7	52.9	56.9	55.3	58.8	56.6	48.5	38.7	49.6
	運輸業	33.6	38.1	48.5	52.5	62.5	68.6	75.2	77.8	78.9	79.8	73.2	66.8
	商業	33.0	29.2	27.9	27.4	28.9	30.7	36.8	43.0	48.9	51.3	45.7	36.4
	その他	6.0	49.3	56.4	59.9	66.7	70.6	74.4	78.3	80.3	81.4	80.7	64.4

Ⅳ まとめ

性・年齢別有所見率調査の結果は、昨年の有所見率調査結果に比べると項目によって変動はあるが、大きな相違はなく、所見のあった者の割合は男性が女性より高く、男女とも年齢が高くなるほど高くなっている。項目別有所見率は、男女とも血中脂質検査が高く、性別で見ると、貧血検査以外は男性が女性より高くなっている。平成29年度のわが国の有所見率は54.1%で、昨年をわずかに上回り、今回も右肩上がり傾向に歯止めはかかっている。2018年4月から新5か年計画がスタートした第13次労働災害防止計画や安衛法の改正等、健康管理については健康診断の実施と事後措置等の徹底が求められている。



東京都産業保健健康診断機関連絡協議会

事務局連絡先: 〒113-0024 東京都文京区西片 1-15-10 医療法人社団 同友会 内

TEL 03-3816-2250 FAX 03-3818-9277

事務局責任者 渡辺 新吉

2018.10.1